

- 環境省. 2023. アカミミガメ及びアメリカザリガニを条件付特定外来生物に指定する政令の閣議決定について. 報道発表資料(2023年1月20日). https://www.env.go.jp/press/press_01039.html [2023年2月10日最終確認]
- 松井正文・森哲. 2021. 新・日本両生爬虫類図鑑. サンライズ出版, 滋賀. 243p.
- 中村健児・上野俊一. 1963. 原色日本両生爬虫類図鑑. 保育社, 大阪. 214p.
- 佐藤方博・片岡友美・八木愛. 2019. 今からはじめる 緊急対策外来種 アカミミガメ防除のすすめ方. 認定NPO法人生態工房, 東京. 95p.
- Suzuki, D., H. Ota, H. S. Oh, and T. Hikida. 2011. Origin of Japanese populations of Reeves' pond turtle, *Mauremys reevesii* (Reptilia: Geoemydidae), as inferred by a molecular approach. *Chelonian Conservation and Biology* 10(2): 237-249.
- Suzuki, D. and T. Hikida. 2014. Taxonomic status of the Soft-shell turtle population in Japan: A molecular approach. *Current Herpetology* 33(2): 171-179.
- Suzuki, D., T. Yabe., and T. Hikida. 2014. Hybridization between *Mauremys japonica* and *Mauremys reevesii* inferred by nuclear and mitochondrial DNA analyses. *Journal of Herpetology* 48(4):445-454.
- Takahashi, A., A. Kusaka, and N. Kamezaki. 2019. Skeletal remains of *Mauremys reevesii* (Testudines: Geoemydidae) from a late medieval archeological site in Fukuyama city, Hiroshima prefecture, western Japan. *Current Herpetology* 38(2):160-168.
- 谷口真理・亀崎直樹. 2023. 淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」が果たした役割と顛末—新しい淡水ガメ専門雑誌創刊のお知らせ—. p.35-36. 第8回淡水ガメ情報交換会講演要旨集 認定NPO法人生態工房, 東京.

野外で発見したニホンイシガメの産卵巣

三根佳奈子・西元勇人

静岡県静岡市

Records about the breeding nest of the Japanese pond turtle, *Mauremys japonica*, in the natural habitat

By Kanako Mine and Yujin Nishimoto

Shizuoka city, Shizuoka pref., Japan

野生動物の生態を知るには、その動物の発見情報等の記録を残し、蓄積することは重要である。筆者らは2021年6月5日、静岡県西部のため池で日本固有種ニホンイシガメ(以下イシガメ)の産卵巣を2つ発見した。本発見は断片的な情報ではあるものの、知見に乏しいイシガメの繁殖生態を解明する一助になると考え、以下に詳細を記す。

産卵巣の発見場所

産卵巣(2つ)はいずれも同いため池の堤体の堤

頂部で発見した(図1上)。同ため池は山の中腹、標高102mにあり、周囲は森に囲まれた谷池(水表面積約6,000m²/貯水量31,600m³)である。草本の茂る土手の上に、土が露出している部分を2箇所発見し、土を掘ったところ卵を発見した(図1中)。卵を確認した地点はいずれも池の水際から直線距離で約5mの位置であった。

ため池の淡水ガメの生息状況

同日、同ため池にアナゴ網3基を13時に設置し

3時間後に回収したところ、イシガメ6個体が捕獲された(オス1個体, メス5個体, うち1個体は鼠径部の触診により抱卵を確認)。また, 過去(2020~2022年)に訪れた際には, 堤体の緩傾斜のブロック護岸上にイシガメのみが甲羅干しするのを確認しており, このため池は同種が優占するものと考えられる。

卵数, 卵サイズ, 孵化率, 孵化幼体サイズ

卵数は, 6個と7個であった。産卵巣の深さ(地表から産卵巣底まで)及び卵サイズを表1に示す。前述したように同ため池はイシガメが優占すること



図1. 上:産卵巣が確認された位置, 中:確認された産卵巣(産卵巣2)と卵, 下:孵化した子ガメ

から, 卵はイシガメのものと思われたが, 自宅に卵を持ち帰り人工孵化を試みた。発見から62日後の同年8月6日に2つの産卵巣の孵化を確認し, 外部形態の特徴からすべてイシガメと同定した(図1下)。表2に孵化率, 孵化幼体のサイズを示す。なお, 卵及び孵化幼体のサイズはいずれも発見日・孵化確認日にノギスで測定した。

表1. イシガメ産卵巣の深さ, 卵数, 卵のサイズ

		卵のサイズ			
		長径(mm)	短径(mm)	重量(g)	
産卵巣1	1	39.30	24.55	13.4	
	深さ: 14.6cm	2	40.81	23.92	14.1
		3	41.23	24.70	13.3
		卵数: 6個	4	40.50	23.68
	5		40.99	24.49	15.0
	6		40.34	24.49	12.4
産卵巣2	1	36.42	23.51	12.2	
	深さ: 13.0cm	2	36.75	22.66	11.7
		3	37.17	22.87	12.2
		卵数: 7個	4	35.80	23.66
	5		35.21	23.73	11.6
	6		37.44	22.74	12.1
	7		36.03	23.46	11.7

表2. イシガメ孵化幼体のサイズ

産卵巣 No	孵化日 2021/8/6			
	背甲長 (mm)	背甲幅長 (mm)	腹甲長 (mm)	体重 (g)
1	32.8	27.9	25.3	7.0
	34.6	30.0	26.8	7.6
	その他4卵は未孵化			
	32.1	27.7	26.1	7.4
	32.1	28.1	27.1	7.5
2	32.5	27.2	27.1	7.3
	32.2	28.1	25.8	7.3
	その他3卵は未孵化			